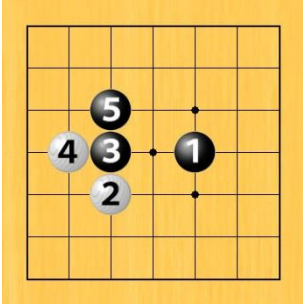


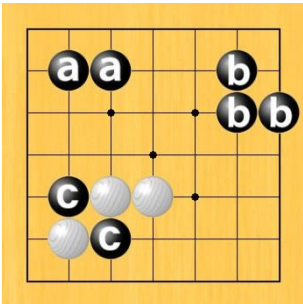
○純碁の遊び方

ゲーム目的 … 最後、盤上にある石を数え、多い方が勝ちとなります。

(1) 交点に黒から交互に一手ずつ打っていきます。



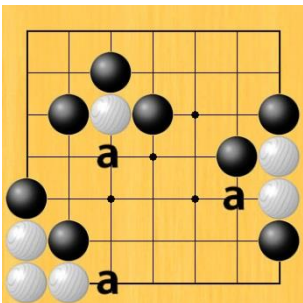
(2) 味方の石同士は、線を通じて隣接すれば、つながっていることになります。



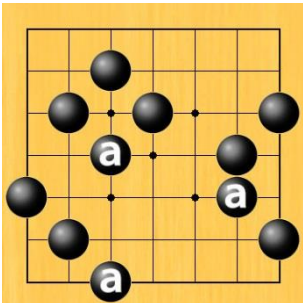
a や b の黒石同士は、それぞれ、つながっている。
c の黒石同士は、つながっていない。

(3) 石を取るルール

A 相手の石やそのつながっている一団を自分の石で囲めば、その石を取ることができます。

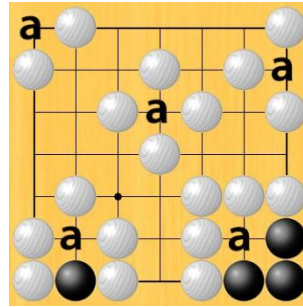


黒 a と打てば、それぞれ、白石を取ることができます。

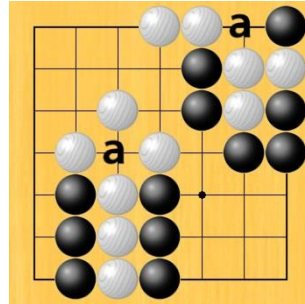


それぞれ、取った後は、このようになります。黒 a と打った人が、相手の石を盤上から取って下さい。

B あらかじめ囲まれている場所は、相手の石を取る時以外打てません。

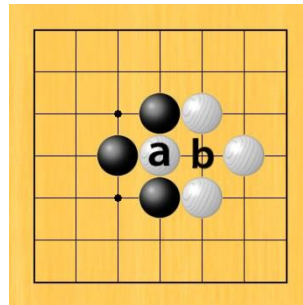


黒にとって a はあらかじめ囲まれている場所なので、黒は a には打てません。



しかし、左図の場合、黒は相手の石を取るので、a に打つことができます。

C 取る、取られることが繰り返される場所は、相手が取った後すぐには取り返せません。

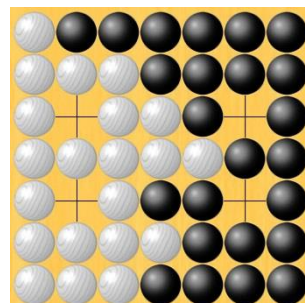


白が a と打ち、b にあった黒石を取った後、黒はすぐには b と取り返せません。

(4) 打ちたい所がなければ、パスできます。

(パスした後でも、相手が打てば、また打つこともできます。)

(5) 両方続けてパスすれば終局です。最後、盤上にある石を数え、多い方が勝ちとなります。



この図の場合、黒は 24 個、白は 21 個。黒の 3 個勝ちとなります。